

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年8月14日(2014.8.14)

【公表番号】特表2012-531384(P2012-531384A)

【公表日】平成24年12月10日(2012.12.10)

【年通号数】公開・登録公報2012-052

【出願番号】特願2012-516545(P2012-516545)

【国際特許分類】

C 07 C	67/08	(2006.01)
C 07 C	69/78	(2006.01)
C 07 C	69/76	(2006.01)
C 07 C	69/84	(2006.01)
C 07 C	69/82	(2006.01)
C 07 D	213/79	(2006.01)
C 07 D	213/803	(2006.01)
C 07 B	61/00	(2006.01)

【F I】

C 07 C	67/08	
C 07 C	69/78	
C 07 C	69/76	Z
C 07 C	69/84	
C 07 C	69/82	B
C 07 D	213/79	
C 07 D	213/803	
C 07 B	61/00	3 0 0

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年6月26日(2014.6.26)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0021

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0021】

適當な芳香族カルボン酸は、例えば、安息香酸、フタル酸、イソフタル酸、テレフタル酸；ナフタレンカルボン酸、ピリジンカルボン酸及びナフタレンジカルボン酸の各種異性体、並びにトリメリト酸、トリメシン酸、ピロメリト酸及びメリト酸；メトキシ安息香酸、ヒドロキシ安息香酸、ヒドロキシメチル安息香酸、ヒドロキシメトキシ安息香酸、ヒドロキシジメトキシ安息香酸、ヒドロキシイソフタル酸、ヒドロキシナフタレンカルボン酸、ヒドロキシピリジンカルボン酸及びヒドロキシメチルピリジンカルボン酸、ヒドロキシキノリンカルボン酸の各種異性体；並びにo-トルイル酸、m-トルイル酸、p-トルイル酸、o-エチル安息香酸、m-エチル安息香酸、p-エチル安息香酸、o-プロピル安息香酸、m-プロピル安息香酸、p-プロピル安息香酸、3,4-ジメチル安息香酸、及びチオフェンカルボン酸である。異なるアリール-及び/またはアルキルアリールカルボン酸の混合物も同様に適している。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0030

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0030】

本方法は、安息香酸メチルエステル、安息香酸エチルエステル、安息香酸n-ヘキシリエステル、安息香酸o-トリルエステル、p-トルイル酸メチルエステル、p-ヒドロキシ安息香酸メチルエステル、p-ヒドロキシ安息香酸エチルエステル、ニコチン酸メチルエステル、ニコチン酸エチルエステル、ニコチン酸フェニルエステルの製造に特に適している。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0081

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0081】

例2: p-トルイル酸ブチルエステルの製造

攪拌機、内部温度計及び均圧管を備えた10Lビュッヒ攪拌オートクレーブ中に、3.12kgのn-ブタノール(42モル)を仕込み、そして2.88kgのp-トルイル酸(21モル)及び60gのメタンスルホン酸と混合した。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0083

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0083】

理論値の82%の転化率が達成された。この反応生成物は実質上無色であり、鉄の含有率は<5ppmであった。炭酸水素塩溶液で触媒を中和しそして水及び過剰のブタノールを蒸留して分離した後、減圧蒸留によって3.3kgのトルイル酸ブチルエステルが>97.5%の純度で得られた。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項13

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項13】

Arが、安息香酸、フタル酸、イソフタル酸、テレフタル酸；ナフタレンカルボン酸、ピリジンカルボン酸及びナフタレンジカルボン酸の各異性体；トリメリト酸、トリメシン酸、ピロメリト酸及びメリト酸；メトキシ安息香酸、ヒドロキシ安息香酸、ヒドロキシメチル安息香酸、ヒドロキシメトキシ安息香酸、ヒドロキシジメトキシ安息香酸、ヒドロキシイソフタル酸、ヒドロキシナフタレンカルボン酸、ヒドロキシピリジンカルボン酸、ヒドロキシメチルピリジンカルボン酸、ヒドロキシキノリンカルボン酸の各異性体；o-トルイル酸、m-トルイル酸、p-トルイル酸、o-エチル安息香酸、m-エチル安息香酸、p-エチル安息香酸、o-プロピル安息香酸、m-プロピル安息香酸、p-プロピル安息香酸、3,4-ジメチル安息香酸、及びチオフェンカルボン酸から選択される、請求項1~10の一つまたはそれ以上の方法。